

令和6年度税関関係予算

**税関労組ニュース
第962号(速報)
令和6年1月9日**



**税関定員、過去最多の10,210人となる！
～80名の純増！上位級も継続して増！～**

令和6年度税関関係予算概要

税関職員の定員確保や級別定数増、予算確保のため、関税局長交渉をはじめ、国会議員への要請行動や人事院・内閣人事局との交渉などに取り組んできた結果、厳しい政府方針の下、令和6年度の税関定員は80人の純増、予算は対前年度比0.8%の増額となりました。

機構については、AI・DX推進センター室及び国際博覧会出張所の設置がなされ、統括官以上の機構が23の純増となりました。級別定数については、採用の山がある5級が21増、4級が31増となり、6級以上も31増となりました。全体的に大幅な引上げが実現され、長年の懸案事項である処遇停滞回避に向かって大きく前進しました！

更に、要求を続けていた、行(二)の上位級である4級が6増となりました！
これらは、我々税関労組が長年粘り強く交渉し、我々組合員の実情を当局が理解し、働きかけてくれた結果だと言えます。

また、税関予算とは別に、デジタル庁に一括計上される税関関連のシステム経費が150億18百万円(CIS及び税関ネットワークの更改にかかる経費等)、観光庁に一括計上される国際観光旅客税財源経費が24億91百万円(共同キオスク導入経費及び税関検査場電子申告ゲート(Eゲート)更新経費)となっております。

税関労組は、この結果をしっかりと分析し、引き続き定員の確保と職員の処遇改善に向け、取り組みを進めていきます。

関税局は令和6年1月5日、「令和6年度税関関係予算の概要」を明らかにしました。その内容をお知らせします。

◎予算総額

令和6年度税関関係予算は、前年度当初予算に比べ、7億91百万円増(0.8%増)の989億21百万円。

◎経費の内訳

人件費は、前年度当初予算に比べ、9億68百万円増(1.3%増)の732億65百万円、物件費については、前年度当初予算に比べ、1億77百万円減(0.7%減)の256億56百万円、うち治安対策経費については、取締・検査機器整備等の確保に重点を置いた結果、前年度当初予算に対し、38百万円増(0.3%増)の122億33百万円。

◎定員

新規増員が272人(当局が要求した人数は383人)、定員合理化減は192人、この結果、80人の純増となり、税関職員の定員は、10,210人となる見込み。新規増員の内訳は、適正な通関と課税を確保するための体制整備の増94人、テロ対策を含む治安のための水際取締体制整備の増77人、経済安全保障を確保するための体制整備の増73人、AIの活用・DXの推進に向けた体制整備の増21人、大阪・関西万博における体制整備などの増7人。

◎級別定数及び機構(前年度単純比較)

機構については、AI・DX推進センター室及び国際博覧会出張所の設置、統括官以上の機構が23純増。級別定数については、下記「級別定数の推移」参照。

☆税関定員の年度別 査定状況

年度	年度末定員 (対前年度比)	認められた新規増員①	計画削減等によるもの②	差引 (①-②)
令和6年度	10,210 (+32) ※ (令和3年度査定事項の期限到来減48)	272 (要求は383)	192	+80
令和5年度	10,178 (+104) ※	296 (要求は469)	192	+104
令和4年度	10,074 (+103) ※	295 (要求は405)	192	+103
令和3年度	9,971 (+145) ※	342 (要求は449) (デジタル庁への振替人員含む)	192	+150 (デジタル庁への振替人員含む)

※平成26～28、30年度において緊急増員があり、平成27年度から当初定員が、対前年度比10年連続純増を達成。

☆級別定数の推移

行 (一) 級別定数の推移

	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	合計	(指定職)
6年度	2	32	55	201	1,181	1,873	1,791	1,966	1,677	1,215	9,993	9
5年度	2	31	56	198	1,154	1,852	1,760	1,990	1,626	1,289	9,958	9
増減	0	1	-1	3	27	21	31	-24	51	-74	35	0

行 (二) 級別定数の推移

	5級	4級	3級	2級	1級	合計
6年度	6	20	39	0	0	65
5年度	6	14	48	0	0	68
増減	0	6	-9	0	0	-3

医 (三) 級別定数の推移

	2級	合計
6年度	4	4
5年度	4	4
増減	0	0

海 (二) 級別定数の推移

	6級	5級	4級	3級	2級	合計
6年度	3	45	30	9	17	104
5年度	3	45	30	9	17	104
増減	0	0	0	0	0	0

海 (一) 級別定数の推移

	4級	3級	2級	1級	合計
6年度	9	16	10	0	35
5年度	9	16	10	0	35
増減	0	0	0	0	0

☆行政経費関係 (令和5年度予算額は当初予算額) (物件費の内訳は主な項目を抜粋) (単位:千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減	対前年度増減比 (%)	
税 関 予 算 合 計	98,920,928	98,129,924	791,004	0.8	
人 件 費	73,264,901	72,297,385	967,516	1.3	
物 件 費	25,656,027	25,832,539	-176,512	-0.7	
主 な も の	税関施設整備に必要な費用	450,804	212,852	237,952	111.8
	輸出入貨物通関及び関税等徴収経費	1,837,612	2,318,060	-480,448	-20.7
	監視取締経費	10,398,054	11,020,171	-622,117	-5.6
	監視業務経費	2,939,581	2,772,884	166,697	6.0
	監視艇整備運航経費	1,580,316	1,863,022	-282,706	-15.2
	X線検査装置	621,953	840,824	-218,871	-26.0
	大型X線検査装置	2,649,398	2,789,479	-140,081	-5.0
	埠頭監視カメラ整備等経費	2,156,614	2,312,662	-156,048	-6.7
	麻薬探知犬整備等経費	153,559	154,358	-799	-0.5
	外遊出張所維持管理経費	296,633	286,942	9,691	3.4
船舶建造費	1,079,276	965,274	114,002	11.8	

☆機 構 関 係 (内訳の部署で、数の記載がないものは全て1の増減)

機構名	増	減	増	減
出張所	+1		国際博覧会(大)	—
署所次長	+1	-1	中部空港(名)	西部(名)
室	+1		総務部(東)	—
システム企画調整官	+5	-1	総務部(東3、大、神)	総務部(東)
統括監視官	+11	-2	監視部(沖2)、新潟(東)、大井(東)、岡山空港(神)、 広島空港(神)、高松空港(神)、松山(神)、福岡空港(門)、 鹿児島(長)、那覇空港(沖)	監視部(東2)
統括審査官	+5	-1	業務部(門)、船橋市川(横)、清水(名)、国際博覧会(大)、 北九州空港(門)	業務部(東)
税関相談官	+1		川崎外郵(横)	—
原産地調査官	+1	-1	業務部(東)	清水(名)
統括調査官	+2		調査部(神、門)	—
統括審理官		-1	—	福岡空港(門)
特別審理官	+1		福岡空港(門)	—
情報管理官	+1		調査部(東)	—
課長補佐	+5		総務部5	—
上席監視官	+59	-13	監視部30、署所29	監視部7、署所6
上席審査官	+51	-11	業務部29、署所22	業務部9、署所2
上席分析官	+3		業務部2、署所	—
上席調査官	+59	-16	総務部16、監視部11、業務部6、調査部25、署所	監視部、調査部14、署所
上席審理官	+6	-1	調査部4、署所2	調査部
係	+2		総務部2	—
関税協力専門官	+1		総務部	—
監視官	+93	-70	監視部63、署所30	監視部52、署所18
審査官	+42	-47	業務部33、署所9	業務部36、署所11
調査官	+78	-66	総務部12、監視部6、業務部4、調査部56	総務部2、監視部2、業務部4、調査部58
審理官	+19	-13	調査部15、署所4	調査部13
主任	+4		総務部4	—
<再任用短時間>				
税関考査官	+5		総務部(函、横、大、神、長)	—
監視官	+5		監視部2、署所3	—
審査官	+6		署所6	—
調査官	+1		署所	—
<暫定再任用短時間>				
税関考査官	+2	-4	総務部(東、横)	総務部(名2、大、神)
実務指導官		-1	—	総務部
監視官	+20	-12	監視部3、署所17	監視部5、署所7
審査官	+9	-13	業務部2、署所7	業務部3、署所10
調査官	+8	-5	総務部2、監視部2、調査部2、署所2	総務部、監視部2、調査部、署所
審理官	+2		調査部、署所	—
合 計 : 増510、減279 統括官以上の機構(再任用短時間を除く): 純増23				